

第3回 歴史&ハイキング愛好会 例会実施報告

当番幹事 植野 郁夫

暑さが残る9月21日（日）田舎道をゆっくり歩きながら“江戸時代にタイムスリップ”し、時代劇の世界を覗いてみようとの主旨で、川崎市多摩区の生田緑地にある、川崎市立日本民家園を尋ねました。

当日は午前10時30分JR中央線新宿駅西口、京王デパート入り口前に参加者19名が集合。小田急線にて向ヶ丘遊園駅に移動。駅より徒歩15分で目的地に到着して入園。川崎市内の民家をはじめ、おもに東日本の茅葺屋根の民家20棟以上を移築展示、国指定の重要文化財も9棟ありました。豪雪地帯の農家、宿場町の町屋、九十九里の網元の家、千曲川沿いの庄屋の家等々地域色豊かな構成となっていて、地域や年代による建物の構造、工法の違いを比較できました。

昼食は園内の白川郷合掌造りのそば屋で、各々の民家の話をしながら摂り見学を終りました。

続いて向ヶ丘遊園駅よりJR南部線にて川崎駅に移動、駅西口の東芝未来科学館に入館。

「ヒストリーゾーン」には、あの“三丁目の夕日”時代の洗濯機、冷蔵庫、テレビ、そしてステレオのプレーヤーにはビクターマークのLP盤等、懐かしい電化製品が展示してありました。

また一方、最先端の技術製品で子どもたちが科学技術を楽しく学べる「サイエンスゾーン」も見学し、午後3時15分当館入り口前で解散しました。

（参加者・敬称略）

岩田芳秀、遠藤哲也、小澤敏宣、川上昇、川島省三、川股賢三、木頃勝紀、佐々木梧郎、住田勝治、田代 周、橋本裕一郎、花岡秀男、平木行雄、古屋榮三、牧田賢二、湯浅尋夫、六角 学、山田昌之、植野郁夫 （19名）



*小田急線にて向ヶ丘遊園駅へ！



*日本民家園見学



